

アンペアダウンしよう

～電力契約を見直そう～

アンペアダウンは、究極の節電/節約方法です。**3重の効果**が期待できます。

自由に電力会社を選ぶことのできない消費者が、今できること、それが、アンペアダウン（電力契約量を小さくする）です。

①

毎月の**基本料金**が減ります。
各家庭と東電との間のアンペア契約には、
アンペア数に応じて下表のような基本料金が課されています。

3重の効果

アンペア数	20A	30A	40A	50A	60A
基本料金（円/月）	546	819	1,092	1,365	1,638

即ち、60A の契約を 40A に下げると、基本料金は、
 $1,638 - 1,092 = 546$ 円/月、
546 円 * 12 ヶ月 = 年間 6,552 円の節約になります。

②

アンペアダウンをキッカケにして家族での**節電努力**に結びつけば、(1) を上回る効果も期待できます。
例えば、4 人家族でいろいろな電気製品を使っている家庭が毎月平均使用電力を 500kWh から 2 割減らして 400kWh にしたとすると、毎月の電気料金は 11,100 円/月から 8,660 円/月と 2,440 円/月 (=29,280 円/年) もの削減、(1) と併せて約 36 千円の削減になります。

節電に成功すれば、
お父さんや私のお小遣いが増えるかも！

③

節減効果に加え、もう一つ大きな効果、それは**東電の電力供給義務が減る**という効果です。

東電の供給義務は家庭との契約アンペア数の総合計がベースですから、アンペアダウンをすると供給義務がその分軽減されます。仮に平均 2 割のアンペアダウンが実現すれば家庭用全体では 200 万 kW 減になると試算されています。

もう下げる余地のない家庭がある反面、3～5 割まで下げられる家庭もありますので、2 割減は実現可能な目標です。

簡単に節電

アンペアダウンの仕方：

- (1) 我が家の電気が何アンペアかを調べる
(電気料金の領収書またはブレーカーの上にあります)。
- (2) 家族で話し合って何アンペアにするかを定める。
- (3) 電気料金の領収証を手許において、東京電力に工事を依頼する。
0120-995-001 または 0120-995-005
工事費は無料 工事時間は10～15分位
- (4) アンペアダウン終了：これだけです。

アンペアダウンの注意点：

炊飯器、電磁調理器、電子レンジ、ドライヤーなど使用電力の大きい機器を同時に使うと契約アンペア数を超え、ブレーカーが落ちることがあります。この場合にはどれか一つを止めてブレーカーを上げてください。主な電気器具のおおよそのアンペア数は以下の通りです。いずれも1個当たり。

電磁調理器	14A	掃除機	10A	冷蔵庫	1.5A
炊飯器	13A	エアコン	10A	扇風機	1A
電子レンジ	12A	アイロン	10A	室内照明	1A
ドライヤー	12A	洗濯機	4A	TV/ノート型PC	各1A

電気を熱源として使用すると、とても消費電力が大きくなります。

家族で、暖房器具、ドライヤー、掃除機などの使用を、「弱」にすれば、節電効果バツグンです。

「お湯を沸かす」、「ご飯を炊く」などは、ガスを使用する方が、エネルギーのムダが少なくてすみます。

買い替え時は、節電タイプの製品に変える、今より小さな製品を選ぶことが大切です。

楽しく節電

脱原発も可能に



参考

ナマケモノ倶楽部

<http://www.sloth.gr.jp/a-down/>